

日本宗教学会 第 83 回学術大会

2024 年 9 月 13 日(金)～15 日(日)

会場：天理大学 杉之内キャンパス

主催：日本宗教学会第 83 回学術大会実行委員会（天理大学）

お知らせとお願い

1. 受付手続きの際、名札用のケースと用紙を受け取り、会場では常に名札をつけてください。
受付では名札用のケースとともに大会名のみが書かれた名札の用紙を配布します。氏名の記載は参加者自身で行なってください。所属先の記載は任意とします。
名札は大会参加費納入済みであることを示すため、会場内では必ず、見える位置につけてください。
2. 理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
4. 発表時にパソコン用プロジェクターを使用する方へ
4頁「パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意」をお読みください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。
会場での複写は受け付けません。
6. 発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。
 - ・個人発表 発表 15 分、質問 5 分、計 20 分（初鈴 13 分、二鈴 15 分、三鈴 20 分）
 - ・パネル発表 「発表者数×5 分」をフロアからの質問時間として確保ください。
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に 5 分間の休憩時間を設けています。この 5 分間を議論の延長などに使うことのないようお願いします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
10. 『宗教研究』別冊用要旨について
19 頁「『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意」に従って作成し、9 月 20 日（金）までに、編集委員会に送信してください。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、編集委員会に送信してください。
11. 会場の配置については、21 頁をご覧ください。
12. 録画発表部会の詳細については、参加申込者に送られるご案内をご覧ください。

大会受付	(金)	9 号棟（ふるさと会館）2 階ロビー
	(土・日)	4 号棟 2 階 42A 教室
大会実行委員会本部	(全日)	4 号棟 2 階 42A 教室
クローク	(金)	9 号棟（ふるさと会館）2 階ロビー
	(土・日)	4 号棟 2 階 42A 教室
会員休憩室	(土・日)	4 号棟 1 階 学生ホール、3 号棟 2 階 32I 教室

大会日程

9月13日（金）

評議員会	9号棟（ふるさと会館）2階ホール	13：00－13：50
開会式	9号棟（ふるさと会館）2階ホール	14：20－14：30
公開シンポジウム	9号棟（ふるさと会館）2階ホール	14：30－17：00

9月14日（土）

研究発表（個人）	3・4号棟2階 各会場	9：00－12：40
研究発表（パネル）	3・4号棟2階 各会場	13：30－15：30
会員総会	3号棟2階 32I 教室	15：50－17：10

9月15日（日）

研究発表（個人）	3・4号棟2階 各会場	9：00－12：40
* 男女共同参画・若手研究者 支援委員会 情報交換会	4号棟1階 学生ホール	12：45－13：25
研究発表（個人・パネル）	3・4号棟2階 各会場	13：30－15：30

* 男女共同参画・若手研究者支援委員会 情報交換会

日時	2024年9月15日（日）12：45－13：25
場所	4号棟1階 学生ホール
開催形式	対面開催 また、録画発表部会の質疑応答用 Slack（9月6日（金）～9月22日（日））にも 当委員会「情報交換会」チャンネルを設置しています。
対象	本学会の会員
参加人数	最大30名程度
事前登録	不要
内容	男女共同参画・若手研究者支援に関する情報交換会を開催します。 本学会の会員であれば誰でも出席できますので、奮ってご参加ください。 本学会における活動で困っていること、改善して欲しいこと、本学会における男女 共同参画・若手支援に関して期待すること、についてグループに分かれて情報交換 したうえ、全体共有をします。

大会実行委員会からのお知らせ

ご参加いただくにあたり、事前に下記についてご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

- (1) キャンパスマップ、会場へのアクセスマップは 20 頁、22 頁をご覧ください。
- (2) なるべく、自家用車での来場はご遠慮ください。
- (3) クロークは用意いたしますが、貴重品・衣服についてはお預かりいたしません。またお預けになったものは当日の所定の時間までに、必ずお引き取りください。
- (4) 大学食堂及び学内のコンビニエンスストアは、土日は営業しておりません。近隣の飲食店の数は限られています。昼食は前もってご用意ください。学生ホール及び 32I 教室では、飲食が可能です。
- (5) 会場にはコピー機の用意がありませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (6) Wi-Fi の提供はありません。必要であれば、各自でご用意ください。
- (7) 喫煙は、所定の場所をお願いします。教室等は禁煙です。ご協力をお願いします。
- (8) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページの「大会実行委員会特設サイト」を通じてお知らせします。
- (9) 大会前日及び期間中に緊急に連絡する必要がある場合、下記にメールでお知らせください。

第 83 回学術大会実行委員会 jars83rd(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

発表会場に常設のパソコンはありません。プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。

これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。

また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意ありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。



なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。

第 83 回学術大会実行委員会

公開シンポジウム

宗教研究のインサイダーとアウトサイダー ー 信仰者の自己理解と宗教の学術研究をめぐってー

趣 旨

宗教研究において、当事者すなわち信仰者の自己理解や自己表象を積極的に取り込むべきだという主張は、長年存在してきました。研究者と信仰者の関係を「自」と「他」（他者）の関係に置き換え、自他の共通部分を強調し、他者としての信仰者による自己表象の価値を認め、信仰者の自己理解を研究者が行う宗教の批判的考察に含めるべきとの意見があります。信仰者の承認を得ることは、研究者にとっての正しいモラルであるとの主張さえおこなわれます。

その一方で、信仰者の自己理解や、研究に対する彼らの承認は、学術研究には関係がないとの立場も保持されてきました。それは学問の自由に加え、宗教の公共性、歴史性、社会性などを論拠にしています。研究者は信仰者自身にとっての個人的な宗教の意味は尊重するが、それを防御する必要はなく、研究対象の宗教について当事者と異なる解釈をするのは研究者の自由である、との主張がなされています。この場合、信仰者の自己表象や自己理解それ自体が研究の対象となり、他の研究資料と同様に歴史化、理論化されていきます。

本シンポジウムでは、宗教研究における信仰者（insider）と研究者（outsider）の関係をとりあげ議論します。そのなかでは、「信仰をもつ研究者」（scholar as religious believer）についても検討したいと思います。

日 時 2024 年 9 月 13 日（金）14：30－17：00

会 場 天理大学 9 号棟（ふるさと会館）2 階ホール

次 第	趣旨説明	東馬場 郁生（天理大学教授）
	第 1 報告	奥山 倫明（東洋英和女学院大学教授）
	第 2 報告	渡辺 優（東京大学准教授）
	第 3 報告	那須 英勝（龍谷大学教授）
	コメント	ミラ・ゾンターク（立教大学教授）
	司会	岡田 正彦（天理大学教授）

登壇者紹介

奥山 倫明／おくやま みちあき（東洋英和女学院大学教授／死生学研究所所長）

1963 年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。『エリアーデ宗教学の展開－比較・歴史・解釈』（刀水書房、2000 年）、『制度としての宗教－近代日本の模索』（晃洋書房、2018 年）、*Defining Shinto: A Reader* (Edited by Mark. W. MacWilliams and Okuyama Michiaki, Routledge, 2020)、『いまを生きるための宗教学』（島菌進・奥山倫明編、丸善出版、2022 年）など。

渡辺 優／わたなべ ゆう（東京大学准教授）

1981 年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。博士（文学）。『ジャン＝ジョゼフ・スュランー一七世紀フランス神秘主義の光芒』（慶應義塾大学出版会、2016 年）、「泥海古記」の想像力（『天理大学学報』第 256 輯、2021 年）、「神秘主義研究の新地平－身体、女性、霊のことば」（『宗教研究』第 408 号、2023 年）、『カトリック的伝統の再構成』（伊達聖伸との共編著、勁草書房、2024 年）など。

那須 英勝／なす えいしょう（龍谷大学教授）

1961 年生まれ。Graduate Theological Union（神学大学院連合）博士課程修了（Ph.D.）。『国際社会と日本仏教』（共著、丸善出版、2020 年）、『現代日本の仏教と女性－文化の越境とジェンダー（龍谷大学アジア仏教文化研究叢書 8）』（共編著、法藏館、2019 年）、「実在の浄土と観念の浄土－キリシタン教理書に投影された近世仏教の救済論」（『仏教と日本Ⅱ』法藏館、2021 年）など。

Mira Sonntag／ミラ・ゾンターク（立教大学教授）

1971 年生まれ。東京大学大学院人文社会系研究科宗教学宗教史学専攻博士課程単位取得退学。博士（文学）。『大正期日本における合理主義と救済－1918 年～19 年のキリスト再臨待望運動の「厚い記述」』（博士学位申請論文、2008 年）、『宗教を考える教育』（共著、新教出版社、2010 年）『〈グローバル・ヒストリー〉の中のキリスト教－近代アジアの出版メディアとネットワーク形成』（編著、新教出版社、2019 年）など。

東馬場 郁生／ひがしばば いくお（天理大学教授）

1960 年生まれ。Graduate Theological Union（神学大学院連合）博士課程修了（Ph.D.）。*Christianity in Early Modern Japan: Kirishitan Belief and Practice*（Brill, 2001）、『きりしたん史再考－信仰受容の宗教学』（天理大学おやさと研究所、2006 年）、『きりしたん受容史－教えと信仰と実践の諸相』（教文館、2018 年）など。

岡田 正彦／おかだ まさひこ（天理大学教授）

1962 年生まれ。Stanford University 博士課程修了（Ph.D.）。『忘れられた仏教天文学－19 世紀の日本における仏教世界像』（法藏館文庫、2024 年）、『邪教／殉教の明治－廃仏毀釈と近代仏教』（翻訳・ジェームス・ケテラー著、ペリかん社、2006 年）など。

第1部会 (2階 32C 教室)

9月14日(土)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | フランソワ＝アンドレ・イザンベールの宗教社会学 | 田中 浩喜 (日本学術振興会) |
| 3. 9:50-10:10 | 近年の儀礼研究の展開－D. ジガラタスの儀礼論をめぐって－ | 森下 三郎 (天理大) |
| 4. 10:15-10:35 | 聖遺物の宗教社会学－中世キリスト教会の事例－ | 岩井 洋 (帝塚山大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教学における「非合理的なもの」の形成 | 宮嶋 俊一 (北大) |
| 6. 11:05-11:25 | APA 第36部会発足の経緯について | 今野 啓介 |
| 7. 11:30-11:50 | 民衆宗教論再考－宗教の定義の再構築にむけて－ | 井上 大介 (創価大) |
| 8. 11:55-12:15 | ヴァナキュラー宗教論の検討－日本の状況に照らして－ | 西村 明 (東大) |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教者類型としてのヒジリ | 関 一敏 |

【午後】パネル

日本の宗教学史再考－宗教学と人類学の分化を中心に－

代表者：竹沢尚一郎

- 13:30-15:30 姉崎正治とフランス宗教社会学・人類学とのつながり
赤松智城の近代仏教と宗教人類学
古野清人のデュルケーム受容をめぐって
アニミズムの復権に向けて－岩田慶治論の課題－
柳川啓一と宗教行為論の伝統

- 伊達 聖伸 (東大)
菊地 暁 (京大)
山崎 亮 (島根大)
鈴木 正崇 (慶大)
竹沢尚一郎 (国立民博)

司会：竹沢尚一郎 (国立民博)

9月15日(日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | シモーヌ・ヴェイユの宗教哲学と世俗性(ライシテ)の問題 | 小林 敬 (花園大) |
| 3. 9:50-10:10 | ジャック・マリタンの「霊性の優位」と「全きヒューマニズム」 | 井川 昭弘 (長崎純心大) |
| 4. 10:15-10:35 | ボンヘッフアー「国家と教会」における政治的権威と教会の関係 | 逢坂 暁乃 (早大) |
| 5. 10:40-11:00 | 法に抗うキリスト教思想－抵抗権をめぐって－ | 上原 潔 (大阪産業大) |
| 6. 11:05-11:25 | ラッシュドゥーニーと米国キリスト教ナショナリズムの系譜学 | 加藤 喜之 (立教大) |
| 7. 11:30-11:50 | カントの宗教概念－W・C・スミスによる理解との関連で－ | 保呂 篤彦 (筑波大) |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教的真理とプラグマティズム | 林 研 (岩手医科大) |
| 9. 12:20-12:40 | E・ハーバートにおける自然的宗教について | 諸岡道比古 (弘前大) |

【午後】パネル

現代日本の宗教学の諸概念とその再検討

代表者：澤井 義次

- 13:30-15:30 宗教概念としての「無宗教」とその意味構造
現代日本の「宗教の私事化」とその再考
現代の「世俗化」認識とその条件
現代日本の「多神教」概念とその再考
現代の「スピリチュアリティ」論とその再考

- 澤井 義次 (天理大)
氣多 雅子 (京大)
諸岡 了介 (島根大)
平藤喜久子 (國學院大)
島藺 進 (東大)

司会：澤井 義次 (天理大)

第2部会 (2階 32G 教室)

9月14日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | ブーバーの対話論における聖性の考察 | 西井 美穂 (大島看護専門学校) |
| 2. 9:25- 9:45 | 希望と焦燥ーレヴィナスの救済論についてー | 若林 和哉 (京大) |
| 3. 9:50-10:10 | トレルチの宗教観における第一次世界大戦敗戦の影響 | 野川 祈 (東大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「存在の根拠」と「無意識の神」ーP. Tillich と V. E. Franklー | 鈴木 英駿 (南山大) |
| 5. 10:40-11:00 | 宗教の二重の弁証ーP. ティリッヒの宗教哲学的思索の展開ー | 平出 貴大 (関西学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | バークリの非物質論と神学上の概念 | 山川 仁 (天理大) |
| 7. 11:30-11:50 | キェルケゴール思想における「神的なもの」と共通善 | 木瀬 康太 (法大) |
| 8. 11:55-12:15 | ハイデッガーにおける神学の問題 | 田鍋 良臣 (鳥取大) |
| 9. 12:20-12:40 | 「すべての Lust は永遠を欲する」というニーチェのテーゼ | 中路 正恒 (京都芸術大) |

【午後】国際委員会企画パネル

The Relevance of “Global Religious History” for Religious Studies in Japan

Convener : Mira SONNTAG

- | | | |
|-------------|---|--|
| 13:30-15:10 | World Christianity and the Global History of Religion | Adrian HERMANN (Univ. of Bonn) |
| | Religion and Global History in Studies on the Reformation and Protestantism | ODORI Tomoji (Musashi Univ.) |
| | Prospects and Constraints of “Global” Christian History:
Perspectives from East Asia | TAKAI-HELLER Yuki
(Tainan Theological College and Seminary) |
| | | Chair, Commentator : Mira SONNTAG (Rikkyo Univ.) |

9月15日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | 西谷啓治の宗教哲学における方法論の検討 | 長岡 徹郎 (阪大) |
| 3. 9:50-10:10 | 西谷啓治の宗教哲学と古典受容史 | 齋藤 公太 (北九州市立大) |
| 4. 10:15-10:35 | 「日本の宗教哲学」のなかの植村正久 | 古荘 匡義 (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | セビリャ・アントンの和辻哲郎論 | 深谷 耕治 (天理大) |
| 6. 11:05-11:25 | ニクラス・ルーマンと西田幾多郎における内在と超越 | 山崎 好裕 (福岡大) |
| 7. 11:30-11:50 | 「無」の諸相ー久松真一と柳宗悦の交流に注目してー | 佐々 風太 (東京工業大) |
| 8. 11:55-12:15 | 宗教の本質ー愛宮真備ラサールの「カトリック禅」に学ぶー | 高橋 勝幸 |
| 9. 12:20-12:40 | 吉田敦彦の神話学 | 松村 一男 (和光大) |

【午後】パネル

宗教学の輪郭を描きなおす

代表者 : 鶴岡 賀雄

- | | | |
|-------------|---------------------------|------------------------|
| 13:30-15:30 | 宗教研究における「比較」の諸相ーその限界と可能性ー | 久保田 浩 (明治学院大) |
| | 宗教研究における「信仰」ーR・オットーを通してー | 藁科 智恵 (日大) |
| | 「宗教学」起源論におけるヴィーコ | 江川 純一 (明治学院大) |
| | 戦間期における体系的宗教学の構想と「意味理解」 | 木村 敏明 (東北大) |
| | | 司会・コメンテータ : 鶴岡 賀雄 (東大) |

第3部会（2階32F教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 後期新プラトン主義における神働術の展開 | 寺島 奈那（早大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 『ヘルメス文書』『ポイマンドレース』の天界構造 | 田代 英樹（西南学院大） |
| 3. 9:50-10:10 | 殉教伝と夢 | 津田 謙治（京大） |
| 4. 10:15-10:35 | アウグスティヌスの自由意志はどこまでストア的と言えるか | 山田庄太郎（聖心女子大） |
| 5. 10:40-11:00 | アンセルムスとボエティウス | 矢内 義顕（早大） |
| 6. 11:05-11:25 | 王政の注釈と「注釈王政」ーカロリング期の聖書注釈の位置ー | 柴田峻太郎（東大） |
| 7. 11:30-11:50 | ボナヴェントゥラにおける「キリストの知」 | 平野和歌子（龍大） |
| 8. 11:55-12:15 | コンスタン師とボードレールの『照応』をめぐる宗教学的の文学研究 | 田口 哲郎（東大） |
| 9. 12:20-12:40 | ミヒャエル＝エンデとルドルフ＝シュタイナー | 中里 巧（東洋大） |

【午後】パネル

エホバの証人ー宗教家族の困難ー

- 13:30-15:30 宗教家族ー信仰の継承か選択かー
日本の教団成長の見取り図から
「子ども」として生きる困難
家庭での信仰教育および実践がメンタルヘルスに及ぼす影響

代表者：櫻井 義秀

- 櫻井 義秀（北大）
山口 瑞穂（佛教大）
猪瀬 優理（龍大）
清水 香基（北大）

コメンテータ：中村 大介（エホバの証人問題支援弁護団）

司会：櫻井 義秀（北大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|---------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | 障害学と宗教思想の交差ー障害の神学の動向を中心にー | 坪光 生雄（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 臓器移植をめぐる脱宗教化された言説ーUNOSを事例としてー | 藤枝 真（大谷大） |
| 4. 10:15-10:35 | 回勅『ラウダート・シ』の「ケアの文化」と「身体性」 | 寺戸 淳子（国際ファッション専門職大） |
| 5. 10:40-11:00 | 「他者としての死者」論再考ー現代宗教哲学から考える死者倫理ー | 佐藤 啓介（上智大） |
| 6. 11:05-11:25 | 宇宙を調和するイーブラーヒーム・ニヤースの『庭』を事例にー | 末野 孝典（日本学術振興会） |
| 7. 11:30-11:50 | イスラームにおける神秘主義的アイデンティティの創出 | 澤井 真（天理大） |
| 8. 11:55-12:15 | イスラームと世俗主義ーアラブ世界の「市民国家」論を切り口にー | 八木久美子（名古屋外国語大） |
| 9. 12:20-12:40 | イスラーム法癒しの祈祷から見る祈りの構造 | 四戸 潤弥（同志社大） |

【午後】パネル

宗教教団の社会的責務を問う

- 13:30-15:30 カルト問題に対する宗教団体の取り組みについて
日本型「信教の自由と政教分離」の検証
日蓮宗のリテラシーを考える
日本キリスト教界における旧統一教会問題の扱い方の変遷について
宗教2世問題が宗教教団のあり方に訴えるもの

代表者：溪 英俊

- 溪 英俊（浄土真宗本願寺派総合研究所）
斎藤 謙次（松緑神道大和山総合研究所）
赤堀 正明（日蓮宗現代宗教研究所）
川島 堅二（東北学院大）
金子 昭（天理大）

司会：溪 英俊（浄土真宗本願寺派総合研究所）

第4部会（2階 42J 教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 雨宝童子の宝棒と天瓊矛 | 永田 意頼（皇學館大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 鹽竈神社の祭神論 | 城所 喬男（東北大） |
| 3. 9:50-10:10 | 富士山―捨身行と竹取の翁説話― | 小林 一葵 |
| 4. 10:15-10:35 | ベトナムの神格昇進文書「神敕」の変容 | 井上 智勝（埼玉大） |
| 5. 10:40-11:00 | アイヌ悪神説話とその背景―生業との関わりから― | 馬場 裕美（東北大） |
| 6. 11:05-11:25 | 琉球風水の系譜的位置 | 鈴木 一馨（鶴見大） |
| 7. 11:30-11:50 | 古代エジプトにおける「死者の審判」の起源と変遷について | 肥後 時尚（筑波大） |
| 8. 11:55-12:15 | 心理的側面からの宗教検討の可能性―古代地中海世界を参照して― | 土居 由美（神奈川大） |
| 9. 12:20-12:40 | 古代地中海世界における「樂園」像 | 小堀 馨子（帝京科学大） |

【午後】パネル

AI がもたらす新しい死生観、もしくは死と不死

代表者：永原 順子

- | | | |
|-------------|--------------------------------|--------------|
| 13:30-15:10 | 伝統的仮想空間から見た AI 技術による死生観の変容 | 永原 順子（阪大） |
| | AI による死者の「再現」と、歴史叙述・フィクションとの境界 | 師 茂樹（花園大） |
| | 自他の境界と生死の境界 | 冲永 宜司（帝京科学大） |
| | AI 時空における死の観念の変容 | 濱田 陽（帝京大） |

司会：永原 順子（阪大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | （発表なし） | |
| 3. 9:50-10:10 | 近世イギリスの「宗教」観における偶像崇拜への言及をめぐって | 河底 佑佳（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 近世エチオピア王国における婚姻をめぐる問題 | 加藤 基（東大） |
| 5. 10:40-11:00 | 1600 年イエズス会版の「無常歌」と「メメント・モリ」 | カルラ・トロヌ（東京工業大） |
| 6. 11:05-11:25 | ユダヤ教カライ派トウスタリー家の人々と同時代のムスリムたち | 法貴 遊（京大） |
| 7. 11:30-11:50 | 『ヘブライ人の儀礼の歴史』をめぐるユダヤ教への期待と応答 | 李 美奈（東大） |
| 8. 11:55-12:15 | 「リベラル」宗教シオニストの思想と活動―ダヴィド・スタヴー | 犬塚 悠太（東大） |
| 9. 12:20-12:40 | 呼称から考える「ユダヤ人」―初期キリスト教の視点も加えて― | 大澤 耕史（中京大） |

【午後】パネル

死をめぐる比較神話研究

代表者：木村 武史

- | | | |
|-------------|--------------------------------|-------------------|
| 13:30-15:30 | 古代エジプトの復活再生をめぐるオシリス神と太陽神の競合と融合 | 田澤 恵子（古代オリエント博物館） |
| | ヴィシヌの人獅子の化身神話にみる「不死」への志向 | 大木 舞（京大） |
| | 古代メキシコの「部族の放浪譚」における《死と再生》の主題 | 岩崎 賢（神奈川大） |
| | 北米先住民における死の神話 | 木村 武史（筑波大） |

コメンテータ：沖田 瑞穂（和光大）

司会：木村 武史（筑波大）

第5部会（2階42I教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 明治初期キリスト教解放期におけるキリシタン集落の動向 | 内藤 幹生 |
| 3. 9:50-10:10 | 平田篤胤とキリスト教—『本教外篇』の検討を通して— | 服部 直美（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 戦前の「救贖」を主導したキリスト者たちと天皇制 | 松岡 秀明（東大） |
| 5. 10:40-11:00 | 平井金三の Japanism | 日沖 直子（天理大） |
| 6. 11:05-11:25 | 原田治郎の美術解説にみる仏教—1910年『スタジオ』誌より— | 小前ひろみ（大正大） |
| 7. 11:30-11:50 | 関東大震災における内村鑑三と賀川豊彦—震災観と救援活動— | 黒川 知文（中央学院大） |
| 8. 11:55-12:15 | 戦後日本のキリスト教大学構想と湯浅八郎 | 吉田 亮（同志社大） |
| 9. 12:20-12:40 | 日本の近現代宗教史叙述をふりかえる—キリスト教史を中心に— | 星野 靖二（國學院大） |

【午後】パネル

キリスト教とイスラームの比較宗教史—対立から共生への視座—

代表者：佐野 東生

- | | | |
|-------------|-------------------------------|------------|
| 13:30-15:30 | シーア派伝承におけるイエスの遺言執行人たち | 平野 貴大（筑波大） |
| | 共通の崇敬対象としてのマリア—東方キリスト教とイスラーム— | 袴田 玲（岡山大） |
| | ルーミーと神の愛に委ねる神秘思想 | 佐野 東生（龍大） |
| | タウヒードと諸宗教の同根性 | 坂井 信三（南山大） |

コメンテータ：鎌田 繁（東大）

司会：佐野 東生（龍大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|---------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 「平塚らいてう」をめぐる生長の家の言説 | 郭 立東（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 新宗教の衰退とジェンダー問題—大本の事例から— | 熊田 一雄（愛知学院大） |
| 4. 10:15-10:35 | 大正期新宗教と女性の「主体性」 | 川瀬 貴也（京都府立大） |
| 5. 10:40-11:00 | 東アジアにおける奇術をめぐるオリエンタリズムの研究 | 伊藤 優（東大） |
| 6. 11:05-11:25 | 国柱会の分派—山川智応の事例から— | 内村 琢也 |
| 7. 11:30-11:50 | 顕正会の天皇観 | 芳賀 徳仁（大正大） |
| 8. 11:55-12:15 | 創価学会における本尊観の変遷 | 水谷 進良（日蓮宗現代宗教研究所） |
| 9. 12:20-12:40 | 田中正造と宗教をめぐる研究状況 | 堀江 宗正（東大） |

【午後】パネル

啓示のその後—イスラームにおける「権威」の維持と継続—

代表者：井上 貴恵

- | | | |
|-------------|-----------------------|-----------|
| 13:30-15:10 | オスマン朝メナークブナーメに見える「権威」 | 今松 泰（京大） |
| | イスマール・シーア派とイマーム不在の問題 | 野元 晋（慶大） |
| | スーフィー教団における「権威」の移譲 | 井上 貴恵（明大） |

コメンテータ：中西 竜也（京大）

司会：井上 貴恵（明大）

第6部会（2階42H教室）

9月14日（土）

【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 現代都市再開発における神社必要論—神社合祀政策との比較から— 熊谷 昭 (北大)
- 9:50-10:10 教導職と神道教派—制度の視点から— 遠藤 潤 (國學院大)
- 10:15-10:35 アジア主義・超国家主義と宗教—道院・世界紅卍字会と大本教— 玉置 文弥 (京都府立大)
- 10:40-11:00 聖地の高等教育と仏教者—旅順高等学校長の川瀬光順— 大澤 広嗣 (文化庁)
- 11:05-11:25 総力戦下の「宗教弾圧」と再編される聖／俗 永岡 崇 (駒大)
- 11:30-11:50 宗教団体法による「宗教結社」統制の具体相と特質 神田 秀雄 (天理大)
- 11:55-12:15 新言霊学と近代化、ナショナリズムに関する考察 藤原 友弥 (カリフォルニア大)
- 12:20-12:40 日下部四郎太と信仰物理学（信仰佛利）—没後100年の検討— 弓山 達也 (東京工業大)

【午後】パネル

近世日本の暦の世界

代表者：林 淳

- 13:30-15:30 近世における暦注とその解説—一枚物大雑書を手がかりに— 小池 淳一 (国立歴史民俗博物館)
- 暦注解説書の変化の諸相 馬場真理子 (東大)
- 略暦「大小」交換にみる暦文化 小田島梨乃 (東大)
- 山片蟠桃と太陽暦—日本人による太陽暦案の生成— 下村 育世 (青森公立大)

司会・コメンテータ：林 淳 (愛知学院大)

9月15日（日）

【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 統計資料に見る近代の神道—「稻荷講社」の事例から— 青木 涼悟 (明治学院高)
- 9:50-10:10 新宗教の生成史と神社講社—稻荷講社と金明霊学会をめぐって— 石原 和 (同朋大)
- 10:15-10:35 金光教・高橋正雄における「生活気分」及び「生活者」 藤井 麻央 (大谷大)
- 10:40-11:00 柴田花守「救頭燃談語」の政道論 内田 裕一
- 11:05-11:25 大正期神道実行教の教師と神道奨学会 今井 功一 (國學院大)
- 11:30-11:50 教会を設置すること—初期天理教において— 澤井 治郎 (天理大)
- 11:55-12:15 天理教の天啓継承問題の探究—教祖存命の理と茨木事件の再考— 村山 元理 (駒大)
- 12:20-12:40 宗教と道德の間に 田島 忠篤 (道德科学研究所)

【午後】パネル

19世紀の神道家にとっての地域と学問

代表者：三ツ松 誠

- 13:30-15:10 史資料収集・国学受容と近世神社縁起 小林 優里 (東大)
- 佐賀藩の神職と神学寮 三ツ松 誠 (佐賀大)
- 近世伊予国で展開した神道説の継承と変容 新田 惠三 (皇學館大)
- 国学者の文献考証と三条教則理解 古畑 侑亮 (獨協大)

司会：三ツ松 誠 (佐賀大)

第7部会 (2階 42G 教室)

9月14日 (土)

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | (発表なし) | |
| 2. 9:25- 9:45 | 『カチェム・カクルマ』の13章版・15章版・16章版について | 槇殿 伴子 (身延山大) |
| 3. 9:50-10:10 | 比丘尼差別と戒律 | 備後 翠 |
| 4. 10:15-10:35 | 仏典に記載される性転換した人々について | ティッサーナンディー (龍大) |
| 5. 10:40-11:00 | 浄影寺慧遠における『維摩経』注釈の特色ー仏身土論を中心にー | 山名 深 (龍大) |
| 6. 11:05-11:25 | 浄土教における他者一道綽を中心にー | 福井 順忍 (龍大) |
| 7. 11:30-11:50 | 宗教研究誌上における般若経の成立をめぐる論争について | 庄司 史生 (立正大) |
| 8. 11:55-12:15 | 日本密教における五藏曼荼羅の系譜とその展開 | 亀山 隆彦 (京大) |
| 9. 12:20-12:40 | 仏教における修行道の展開ー観の二つの傾向ー | 養輪 顕量 (東大) |

【午後】 パネル

近代日本の教化政策と仏教

代表者：大谷 栄一

- | | | |
|-------------|---------------------------|---------------|
| 13:30-15:30 | 明治期における教化政策の系譜と仏教 | 谷川 穰 (京大) |
| | 三教会同前後における教化政策の転換 | 松岡 悠和 (京都府立大) |
| | 大正～昭和前期における教化政策の系譜と仏教 | 大谷 栄一 (佛教大) |
| | 植民地期日本仏教による朝鮮人教化の困難性をめぐって | 山本 浄邦 (佛教大) |

コメンテータ：藤本 頼生 (國學院大)

司会：大谷 栄一 (佛教大)

9月15日 (日)

【午前】

- | | | |
|----------------|---|-------------------------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 親鸞の守屋観についての考察 | 小松俊一郎 (龍大) |
| 2. 9:25- 9:45 | 親鸞における利他通入の一心の意義 | 近藤 義行 (龍大) |
| 3. 9:50-10:10 | 親鸞教義における疑心往生説・信後疑心残存説の問題点 | 岡林 俊希 |
| 4. 10:15-10:35 | 良忠における「化土」と親鸞における「化土」 | 那須 一雄 |
| 5. 10:40-11:00 | 蓮如草書名号の背景 | 稲城 蓮恵 (阪大) |
| 6. 11:05-11:25 | 近世の親鸞伝ー関東絵伝の考察ー | 南條 了瑛 (武蔵野大) |
| 7. 11:30-11:50 | 巧拙を通じた中近世浄土教絵画受容再考 | 神居 文彰 (平等院ミュージアム鳳翔館) |
| 8. 11:55-12:15 | 近世仏教戒律復興の地方展開ー尾張・美濃に注目してー | 高松世津子 (名大) |
| 9. 12:20-12:40 | Celebrating the Temple Honzon: The Example of Kozenji in Sendai | Alise DONNERE (Tohoku Gakuin Univ.) |

【午後】 パネル

近現代における禅の普及ー修養・修行・美術ー

代表者：武井 謙悟

- | | | |
|-------------|------------------------------|----------------------|
| 13:30-15:10 | 明治時代における学生坐禅団の修養ー如意団の活動を中心にー | 東島 宗孝 (宗教情報リサーチセンター) |
| | 僧堂修行の語られ方ー大正・昭和前期を中心にー | 武井 謙悟 (武蔵野大) |
| | 近代彫刻における坐禅の身体表現ー《雲水群像》を中心にー | 君島 彩子 (和光大) |

コメンテータ：ユリア・ブレニナ (阪大)

司会：武井 謙悟 (武蔵野大)

第8部会（2階32A教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 都市寺院における講中の変容－堀之内妙法寺と柴又帝釈天を例に－ | 小高 絢子（東京工業大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 多宗派寺院調査にみる寺院構成員 | 相澤 秀生（跡見学園女子大） |
| 3. 9:50-10:10 | 信仰の学としての近代宗学の構想－衛藤即応の信仰と学知－ | 工藤 英勝（曹洞宗総合研究センター） |
| 4. 10:15-10:35 | 近世曹洞宗における売薬 | 清水 邦彦（金沢大） |
| 5. 10:40-11:00 | 『太上中道妙法蓮華経』に見る『妙法蓮華経』「二仏並座」の変容 | 白 景皓（身延山大） |
| 6. 11:05-11:25 | 道元における「春」と「花」 | 李 家明（総合研究大学院大） |
| 7. 11:30-11:50 | 『立正安国論』広本に関する先行所見の整理 | 矢吹 康英（立正大） |
| 8. 11:55-12:15 | 『観心本尊抄』第三十番問答における「仏大慈悲」について | 清水 祥華（立正大） |
| 9. 12:20-12:40 | 一念三千と感情 | 三輪 是法（立正大） |

【午後】パネル

何が「ケアする人」を支えるのか？

代表者：安藤 泰至

- | | | |
|-------------|--------------------------------|---------------|
| 13:30-15:30 | スピリチュアルケア提供者による看護師のケアのあり方の検討 | 山本佳世子（天理大） |
| | ケアする人のスピリチュアリティ－痛みを知り支えに気づく－ | 森川 和珠（椋山女学園大） |
| | 他者を支える土台となるセルフケア | 尾角 光美（バース大） |
| | 被災しながら活動する宗教者の支え－利他行ネットワーク論再考－ | 稲場 圭信（阪大） |

司会・コメンテータ：安藤 泰至（鳥取大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 明治日本における仏教諸宗派の政治運動－僧侶の兵役免除の要求－ | 高瀬 航平（東大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 近代日本における日蓮信仰－女性信仰者を中心として－ | 深谷 恵子（立正大） |
| 3. 9:50-10:10 | 近代日本仏教における児童教化－日蓮宗の事例を中心に－ | 戸田 教敏（立正大） |
| 4. 10:15-10:35 | 明治38・39年東北三県凶作と仏教 | 井川 裕覚（東北大） |
| 5. 10:40-11:00 | 加藤咄堂とラジオ放送－「菜根譚講話」における修養と仏教－ | 山口 陽子（東北大） |
| 6. 11:05-11:25 | 戦後歴史学と仏教史研究・再考－敗戦前後の禅文化史研究を軸に－ | 飯島 孝良（花園大） |
| 7. 11:30-11:50 | 戦後の日中仏教交流から、近代日本の中国進出研究へ | 坂井田夕起子（愛知大） |
| 8. 11:55-12:15 | 橋本徹馬の思想と修養法 | 並木 英子（国際基督教大） |
| 9. 12:20-12:40 | 明治十年代における日本仏教と〈宗教改革〉 | オリオン・クラウタウ（東北大） |

【午後】パネル

地方自治体が引き取る死者たちの現在－全国アンケート結果から－

代表者：山田 慎也

- | | | |
|-------------|-------------------------|------------------|
| 13:30-15:10 | なぜ自治体が死者たちを引き取るのか | 山田 慎也（国立歴史民俗博物館） |
| | いかに死者たちを引き取るのか－遺骨の側面から－ | 問芝 志保（東北大） |
| | いかに死者たちを引き取るのか－儀礼の側面から－ | 大場 あや（日本学術振興会） |

コメンテータ：土居 浩（ものづくり大）

司会：山田 慎也（国立歴史民俗博物館）

第9部会（2階32B教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | テキストマイニングを用いた臨死体験者の語りの分析 | 大門 由依（上智大） |
| 3. 9:50-10:10 | 意思決定支援における宗教的経費の範囲 | 深水 顕真（広島文教大） |
| 4. 10:15-10:35 | 新宗教と悩みー「妙法・良医治子」の分析からー | 寺田 喜朗（大正大） |
| 5. 10:40-11:00 | 易学・陰陽師・消費者契約法 | 太田 俊明 |
| 6. 11:05-11:25 | 「靈感商法」の被害者は宗教と消費の関係をどう考えているか | ヤニス・ガイタニディス（千葉大） |
| 7. 11:30-11:50 | 中年期におけるスピリチュアリティ実践 | 栗栖 瑞季（立教大） |
| 8. 11:55-12:15 | スピリチュアリティと認知行動的セルフモニタリング（第3世代） | 山崎 洋史（仙台白百合女子大） |
| 9. 12:20-12:40 | 精神世界と新自由主義 | 小池 靖（立教大） |

【午後】パネル

“翻訳”をめぐる諸課題についてー天理教を事例にー

代表者：堀内みどり

- | | | |
|-------------|--------------------------------|------------|
| 13:30-15:10 | 翻訳とは何かー何がどのように翻訳できるのかー | 堀内みどり（天理大） |
| | 「みかぐらうた」の「翻訳」と身体ーアサドの翻訳論の視点からー | 加藤 匡人（天理大） |
| | 天理教ブラジル伝道と教義翻訳の実相ー“教祖伝”を事例にー | 中西 光一（天理大） |
| | 「異文化伝道」における「翻訳」について | 尾上 貴行（天理大） |

司会：堀内みどり（天理大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | 沖縄県における「墓地埋葬法」適用の歴史と実態 | 牛窪 彩絢（東大） |
| 2. 9:25- 9:45 | 悲嘆過程における宗教的資源の活用ー創価学会員の語りからー | 小野 顕一（上智大） |
| 3. 9:50-10:10 | 近年日本映画にみられる葬送の諸相ー散骨の旅を中心にー | 和栗 隆史 |
| 4. 10:15-10:35 | 新たな葬送から見る死後観ー変容する死者イメージー | 谷山 昌子（東京工業大） |
| 5. 10:40-11:00 | 無宗教の葬儀における死者の意味づけー雑誌『SOGI』の分析からー | 宮澤 安紀（國學院大） |
| 6. 11:05-11:25 | ポストコロナにおける葬送儀礼の実態ー寺院向けウェブ調査よりー | 高瀬 顕功（大正大） |
| 7. 11:30-11:50 | バーチャル葬儀参列と録画視聴に関する報告ー米豪の事例からー | 高木 良子（東京工業大） |
| 8. 11:55-12:15 | バーチャル葬儀のデザイン | 瓜生 大輔（芝浦工業大） |
| 9. 12:20-12:40 | 自宅での看取りと理想的な死 | 沖永 隆子（帝京科学大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 13:30-13:50 | 主要新聞紙から見る日本の在日ムスリム墓地・葬送儀礼への関心 | 岩倉 洸（龍大） |
| 2. 13:55-14:15 | 共存？不干渉？ー愛知県津島市のふたつのマスジドー | 深谷 雅嗣（愛知県立大） |
| 3. 14:20-14:40 | 現代中国におけるムスリム流動人口とその文化の様態 | 志宝ありむとふて（東北大） |
| 4. 14:45-15:05 | 欧州におけるトルコ系移民・難民の信仰の在り方と課題 | 幸加木 文（立教大） |
| 5. 15:10-15:30 | アレヴィーの「シャマン」と現代トルコの「シャマニズム」認識 | 佐島 隆（大阪国際大） |

第10部会（2階32E教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|----------------------------------|--------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | デジタル世界における新しい宗教形態—Vtuberの考察を中心に— | 周 靖而（北大） |
| 3. 9:50-10:10 | 文化資源としての山岳信仰—霊山の文化観光推進— | 佐伯 敬史（國學院大） |
| 4. 10:15-10:35 | 信仰を継続させるための工夫—宗教者の日記分析を中心に— | 高田 彩（國學院大） |
| 5. 10:40-11:00 | 巡礼ツーリズムの経験価値に関する定量的分析 | 南地 伸昭（甲南大） |
| 6. 11:05-11:25 | 「女人禁制」と観光をめぐる天川村洞川地区からの考察 | 西谷 瑞希（國學院大） |
| 7. 11:30-11:50 | 正統派ユダヤ教における女性と規範—トーラー朗読を事例に— | 志田 雅宏（東大） |
| 8. 11:55-12:15 | ジェンダー・ネーションの境界を越えて—北タイの伝統宗教— | 福浦 一男（桐蔭横浜大） |
| 9. 12:20-12:40 | 「とりあえず」で入れられる「ジェンダー」がはらむ問題 | 小林奈央子（愛知学院大） |

【午後】パネル

-
- | | | |
|-------------------------------|----------------------------|----------------------|
| —神教世界の世俗化とジェンダー—LGBTQの議論を事例に— | | 代表者：高尾賢一郎 |
| 13:30-15:30 | ジェンダーと寛容をめぐるイスラーム言説の現在 | 高尾賢一郎（中東調査会） |
| | 政治資源としてのLGBTQ—ロシア連邦を事例として— | 井上まどか（清泉女子大） |
| | 米国のユダヤ教—LGBTQをめぐる現実と言説形成— | 石黒 安里（同志社大） |
| | | コメンテータ：本多 彩（兵庫大） |
| | | コメンテータ：神山美奈子（名古屋学院大） |
| | | 司会：高尾賢一郎（中東調査会） |
-

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|-------------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25-9:45 | 現代日本の若年層における信仰継承—宗教指導者の育成を中心に— | 坪井 俊樹（東大） |
| 3. 9:50-10:10 | 私立学校の宗教教育史研究の可能性—真宗大谷派に注目して— | 徳田安津樹（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 外国語教育の中の宗教—韓国の高校教科書を中心に— | 朴 炳道（慶尚国立大） |
| 5. 10:40-11:00 | 高校公民系教科書における宗教研究者の関わり | 塚田 穂高（文教大） |
| 6. 11:05-11:25 | 「語り」がもたらす虚構のリアリティ | 大澤千恵子（東京学芸大） |
| 7. 11:30-11:50 | アメリカ合衆国福音派のホームスクーリングとジェンダー | 佐藤 清子（東大） |
| 8. 11:55-12:15 | 医学部教育と神学校教育の比較 | 杉岡 良彦（京都府立医科大） |
| 9. 12:20-12:40 | 「善友」としての仏教チャプレン—Monica Sanfordのモデル— | 葛西 賢太（上智大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 13:30-13:50 | 里親養育における宗教の社会参加—天理教を事例として— | 青木 繁（東京工業大） |
| 2. 13:55-14:15 | 新宗教の信仰継承における教団イベントの役割—天理教を事例に— | 道蔦 汐里（東京工業大） |
| 3. 14:20-14:40 | 韓国キリスト教の定着—教会資料に見る在日大韓基督教会の現況— | 中西 尋子（大阪公立大） |
| 4. 14:45-15:05 | 災害と宗教—祭りから考える— | 野村 任（國學院大） |
| 5. 15:10-15:30 | プロテスタント教会の支え合い—宗教青年の実践を中心に— | 川又 俊則（鈴鹿大） |

第11部会（2階32D教室）

9月14日（土）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | 出雲龍蛇神の神在祭祀の一考察 | 向山 貴子 |
| 3. 9:50-10:10 | 熊本城稻荷神社における狐の霊験 | 李 笑彤（長崎国際大） |
| 4. 10:15-10:35 | 怪異表象に散見される〈宗教〉情報 | 古山 美佳（國學院大） |
| 5. 10:40-11:00 | 《世俗》の構成ー現代日本の実話怪談からの考察ー | 近藤 光博（日本女子大） |
| 6. 11:05-11:25 | 日本の経営思想における宗教の表出をめぐる一考察 | 土井 裕人（筑波大） |
| 7. 11:30-11:50 | ファッションにおける「死」の表現 | 岸根 紗葵（上智大） |
| 8. 11:55-12:15 | 現代美術における聖なるイメージの冒涇ー日米の事例の比較からー | 稲村めぐみ（東大） |
| 9. 12:20-12:40 | 宗教造形物のなかの文字の力 | 細田あや子（新潟大） |

【午後】パネル

日本のアニメ・特撮と宗教		代表者：松野 智章
13:30-15:10	アニメ・特撮と宗教・宗教研究	小島 伸之（上越教育大）
	日本における宗教アニメとその動向	石井 慶太（東洋大）
	アニメの中の神と神々ー宗教理論の応用としてー	松野 智章（東洋大）
	アニメにおける死ー敗戦国としてのアニメ文化ー	石神 郁馬
		司会：小島 伸之（上越教育大）

9月15日（日）

【午前】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|--------------|
| 1. 9:00- 9:20 | （発表なし） | |
| 2. 9:25- 9:45 | 統一協会への解散命令請求下の協力聖職者問題 | 別府 良孝 |
| 3. 9:50-10:10 | 宗教的行動・意識調査のテキスト分析ー新聞社世論調査を中心にー | 和田 理恵（東大） |
| 4. 10:15-10:35 | 〈コンプライアンス〉から考える日本語「宗教」にあるバイアス | 高橋 直子（明治学院大） |
| 5. 10:40-11:00 | 現代道教における鉄罐施食儀礼の実践と変容 | 范 玉愷（筑波大） |
| 6. 11:05-11:25 | 妖術の神学ーケニア、ペンテコステ派諸協会の語りー | 岡本 圭史（南山大） |
| 7. 11:30-11:50 | アヤワスカ儀礼の現在ー臨死体験との比較と現代的意義の考察ー | 岩崎 美香（明大） |
| 8. 11:55-12:15 | アマゾン、アチュアル族の現在（神話・儀礼・シャーマニズム） | 谷口 智子（愛知県立大） |
| 9. 12:20-12:40 | モンゴルをとりまく宗教ネットワークのグローバルな意義について | 滝澤 克彦（大阪経済大） |

【午後】

- | | | |
|----------------|--------------------------------|------------|
| 1. 13:30-13:50 | ラダックにおける宗教ツーリズムと異文化間コンフリクト | 宮下 麻美（北大） |
| 2. 13:55-14:15 | 移民社会における宗教の役割ーインド系ディアスポラを事例にー | 岡光 信子（中央大） |
| 3. 14:20-14:40 | ヒマラヤ南面の持続可能な開発と仏教環境主義ーシッキムの場合ー | 別所 裕介（駒大） |
| 4. 14:45-15:05 | インドにおける司法と宗教の絡み合いー法宗教学の構想に向けてー | 田中 鉄也（中京大） |
| 5. 15:10-15:30 | ヒンドゥー至上主義とインド映画ームスリム表象の変遷も交えてー | 山下 博司（東北大） |

録画発表部会

本部会では発表者が作成した発表動画のリンクを集約・共有し
Slack のチャンネル機能を用いて質疑応答を行います
詳しくは個人発表の募集要項 (<https://bit.ly/ko-yoko>) をご覧ください
学会参加申込者には、事前に Slack への招待と動画の URL が送られます

【第1チャンネル】

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. 質問紙調査において「宗教」はどのように尋ねられているか | 藤井 修平 (東京家政大) |
| 2. 改宗ムスリムのアイデンティティ構築—移動経歴や地域性から— | 和田 知之 (東大) |
| 3. 欧州民族宗教会議 (ECER) の歴史と現状 | 後藤 正英 (佐賀大) |
| 4. 中東欧地域の宗教学の歴史と現状 | 藤原 聖子 (東大) |

【第2チャンネル】

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 十二世紀前半のユダヤ商人の活動地域の変遷とラシュートの関連性 | 嶋田 英晴 (同志社大) |
| 2. 『福音の真珠』—ネーデルラント神秘思想の再生と終焉— | 菊地 智 (ルーヴェン・カトリック大) |
| 3. 「律法主義」再考 | 勝又 悦子 (同志社大) |

【第3チャンネル】

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1. 仏教伝道の近代化と音楽礼拝—アメリカから来た三帰依の旋律— | 釋氏 真澄 (龍大) |
| 2. 『蒙古源流』と『モンゴル佛教史』 | 阿部 真也 (大正大) |
| 3. 『修習次第經集』に引用される大乘經典 | 望月 海慧 (身延山大) |

【第4チャンネル】

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1. 源信とそれ以前における十二光仏についての一考察 | 筑紫 信顕 (龍大) |
| 2. 近代日本の仏教界における靈魂言説の諸相とその影響について | 水谷 香奈 (東洋大) |
| 3. 近世日本における視察儀礼の変化の背景について | 金子 奈央 (中村元東方研究所) |

【第5チャンネル】

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1. 蘇州古典園林における道教文化の影響 | 季 振宇 (長崎国際大) |
| 2. 月への信仰と民俗芸能への影響—山陰の風流と九州の浮立を例に— | 谷山ことね (日本女子大) |
| 3. 富士塚とお中道 | 大谷 正幸 |
| 4. 死の選択を迫る社会—映画『PLAN75』にみる死と自己責任論— | 横濱佑三子 (上智大) |
| 5. 死者の臨在感と日本人の死生観—終末期ケアの研究動向— | 栗津 賢太 (上智大) |

『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

個人発表（対面／録画）・パネル発表共通

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 大会ホームページの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』98巻別冊要旨・入力ファイル（Word）」に入力した要旨を9月20日（金）までにメールの添付ファイルで送信し
- ② 提出原稿の書式が規定にそっている方。
発表題目はプログラムと同一にしてください。理事会承認後の発表題目の変更は一切認められません。
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

① 締切日：9月20日（金）（受付開始：8月20日）

送信先：『宗教研究』編集委員会 【注意】パネル発表のみ、送信先のメールアドレスが異なります。

個人発表（対面／録画） ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください。

パネル発表 jars.secretariat(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

（受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります）

② 提出原稿の書式 規定にそっていない場合は掲載できません

・日本語の要旨

縦書き 40字×40行以内（文字数ではありません）

文字サイズ：10.5 日本語のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

・英語の要旨

横書き 650 words 以内。文字サイズ：10.5 フォント：Century（太字の使用は不可）

・日本語の要旨、英語の要旨共通

注記、参考文献一覧、付記は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

「入力ファイル」のページ設定の変更は不可。

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ず、ネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

・個人発表（対面／録画）

日本語による発表者の要旨は日本語。

英語による発表者の要旨は日本語または英語（日本語で提出した場合もタイトル・氏名は英語）。

・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメンテータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一すること。

・欧文タイトル

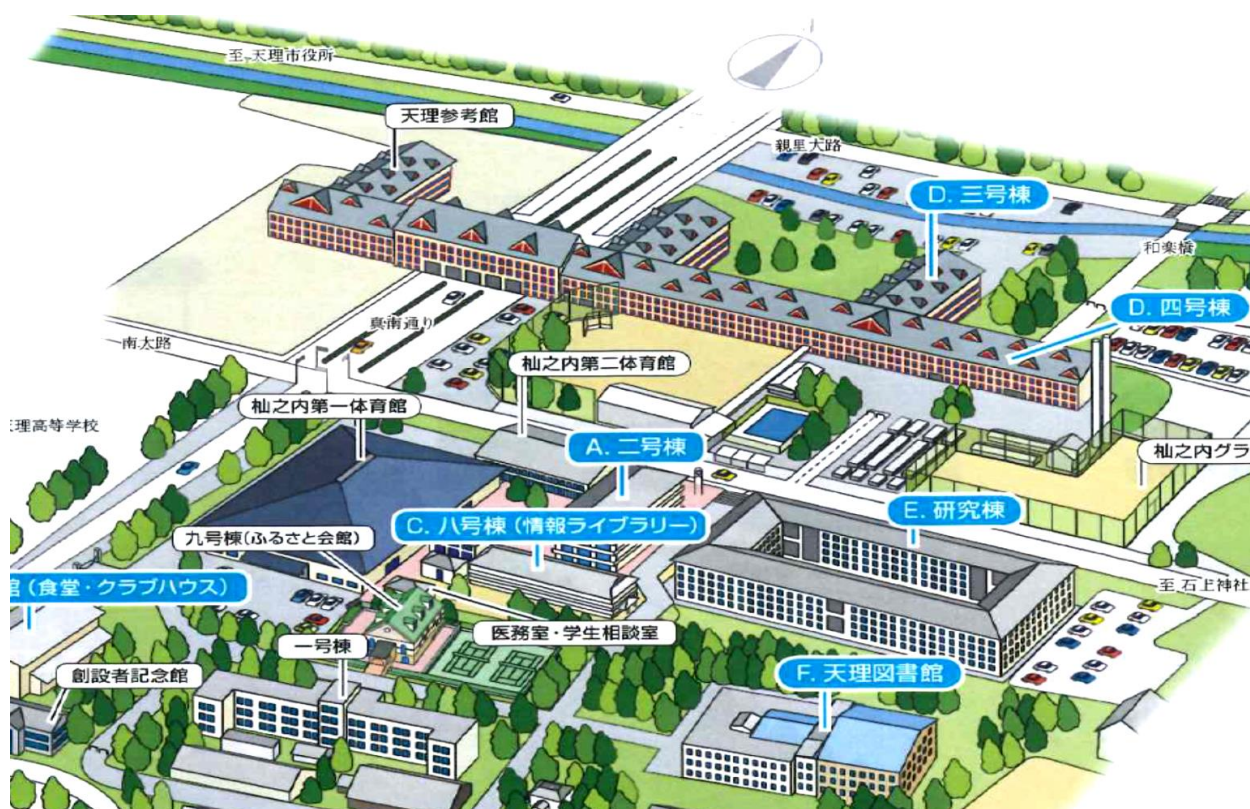
英語、独語の場合は、邦文題目に照らしてネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

9月20日（金）までに、『宗教研究』編集委員会に送信されなかった場合は、掲載不可となります。

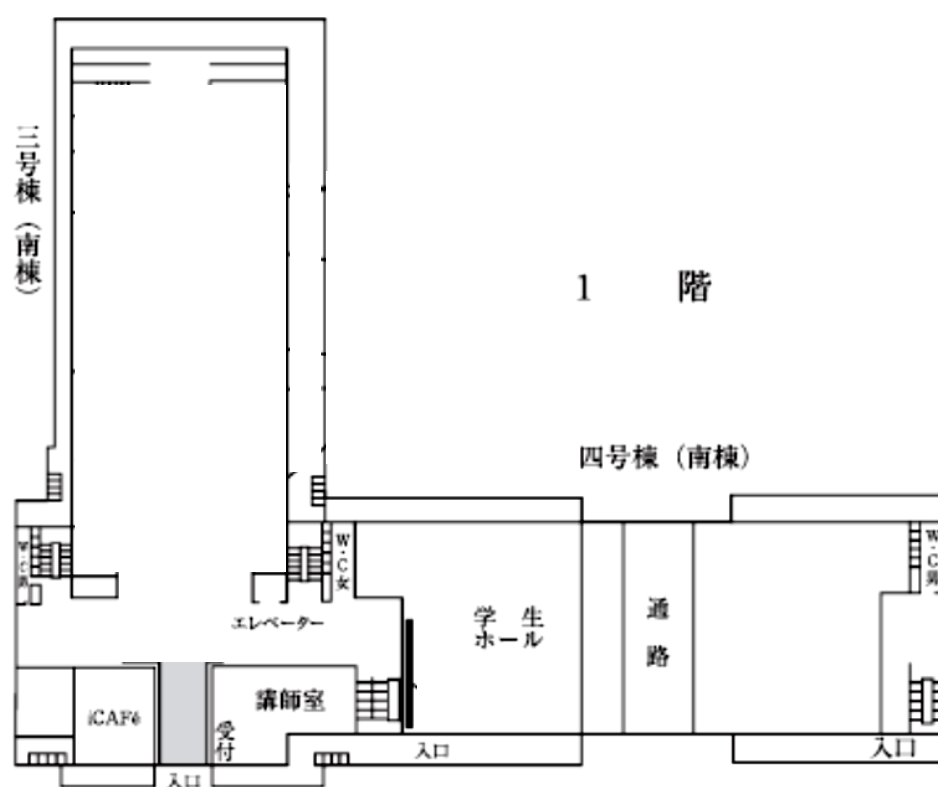
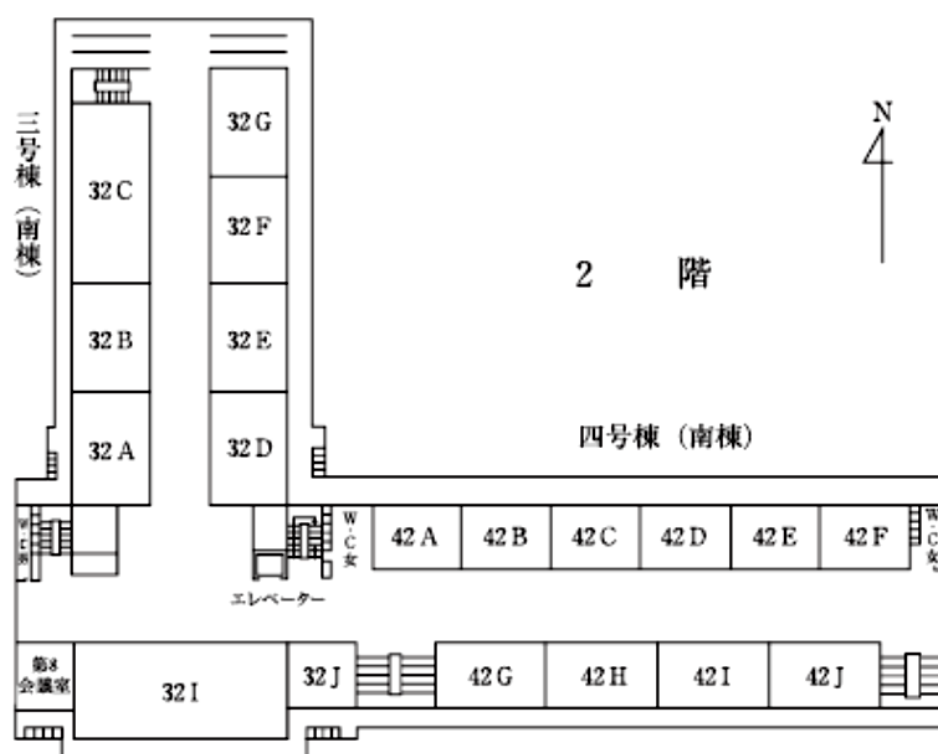
いかなる事由であっても（自然災害を含む）、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。提出された要旨の変更および取り下げは認められません。

『宗教研究』編集委員会

天理教教会本部



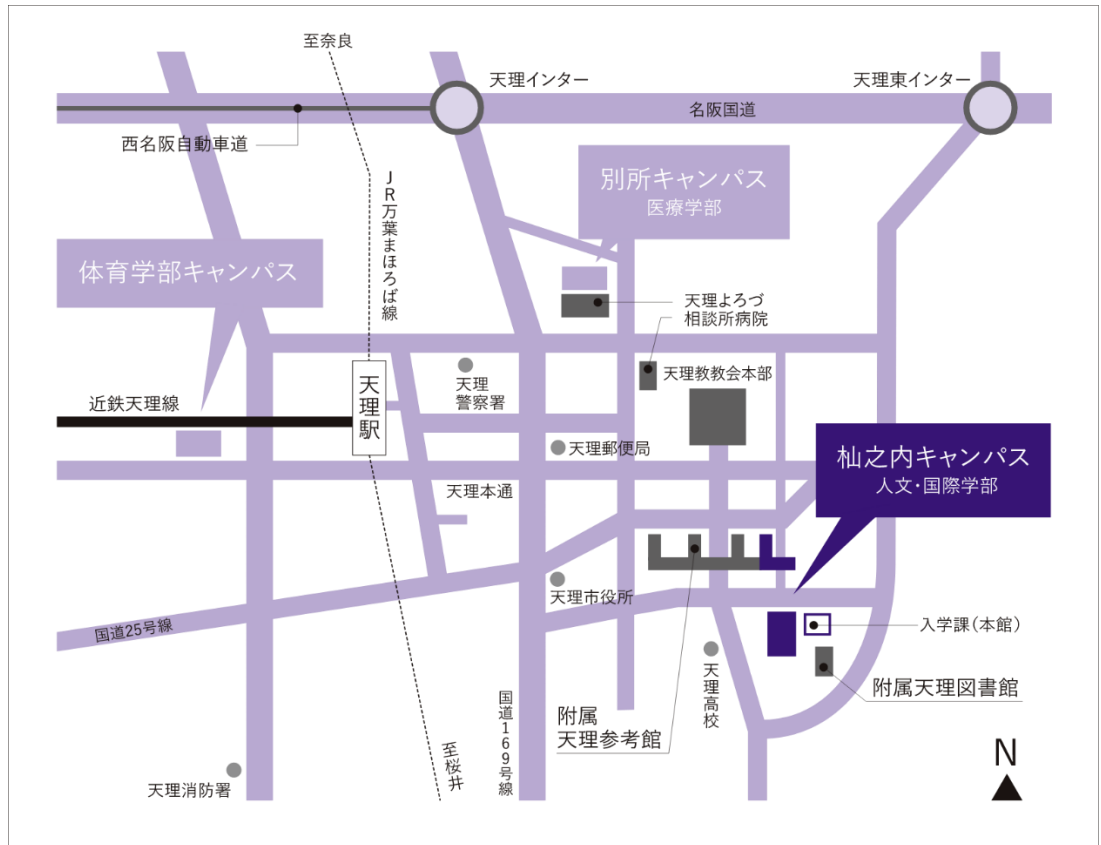
三号棟・四号棟（南棟）



会場 天理大学 杣之内キャンパス（奈良県天理市杣之内町 1050）

アクセスマップ

<https://www.tenri-u.ac.jp/about/campus/>



◆近鉄 大阪難波から（所要時間：約1時間）

大阪難波（近鉄奈良線 奈良行き）－大和西大寺－天理（橿原神宮前行きに乗車の際は、平端駅で乗り換え）

京都から

京都（近鉄京都線 天理行き）－天理（橿原神宮前行きに乗車の際は、平端駅で乗り換え）

◆J R 万葉まほろば線

奈良－天理

*近鉄・J R天理駅天理駅から杣之内キャンパスへは、タクシーで約8分、徒歩で約20分。

日本宗教学会 第83回学術大会実行委員会

E-mail : jars83nd(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

HP : <https://jpars.org/conference/>